

## 2015年50.240SSB モービルグループ電波伝搬実験

JA1WOB 齋藤

5/31の朝5時10分に立川の自宅を出発して、電波伝搬実験をコントロールする移動場所の「関八州見晴台」へ向かいました。

予定通り、1時間ほどで待ち合わせ場所の顔振峠に到着して、50.240で声を出すと、JA1VWB固定局とJP1KFXモービル局と繋がりました。

宍戸OMは少し遅れそうなので、先行して奥武蔵グリーンラインを走り関八州見晴台下にある駐車スペースに到着しました。

今日は雨模様の天気予報から、一転して爽やかな夏空が広がる中、駐車場から関八州見晴台までの山道を登り、5分～10分で山頂に到着しました。

ANTの設置に取り掛かり、5/8GPを設置して、FT-817で受信を開始した頃に、宍戸さんが、ケーブル類と食料を持って登ってきました。

関八州見晴台の近くには、数本のアマ無線アンテナが設置しており、某局のセカンドシャック近くまで、奥武蔵グリーンラインから車で登れる様になっています。

但し、奥武蔵グリーンラインからセカンドシャックまでは、未舗装で車で登れる道幅はありますが、途中に鎖のゲートがあるので、セカンドシャックまで登る事は出来ません。

鎖のゲート手前に駐車している宍戸車まで下り、発々やRIGを台車に載せて、関八州見晴台の頂上まで持ち上げました。

5/8GPにプラス4エレのデルタループを設置して、発々やRIGの準備が終わると、8時半少し前の時間でした。



台車に積んだ発々とRIGANT



5/8GPと4エレΔループ・ANT

早速240移動各局の状況確認を行うと、JA9EBS/3の京丹後市だけが入感がなく、JR2CTR/0長野木曾郡を中継してコントロールを行う事にしました。

そして、当日参加のJA1WSE/1青梅市とコントロール局を含めると、移動ポイントは9箇所となりました。

定刻 9 時に J R 2 C T R / 2 の長野木曾郡から伝搬実験を開始しました、J A 9 E B S / 3 とコンタクトしている様子が R S 5 5 の信号で確認する事は出来ましたが、残念ながら J A 9 E B S / 京丹後市は信号があるのが確認出来るが、内容は確認出来ませんでした。A N T を 5 / 8 4 G P から 4 エレ Δ ループに切変えて、ビームを振りましたが、信号を捉えることは出来ませんでした。

(帰宅後地図で京丹後市を確認したら、少しビームが外れていました)

但し、ほんの 10 秒~20 秒くらい J A 9 E B S 局の声が 31~41 で Q S B を伴い確認できましたが、すぐにノイズに埋もれてしまいました。(残念!!)

次に遠方の J J 1 S X A / 7 の喜多方市は R S 5 5 で F B に入感していました。

下見した際に、南は富士山が良く見えていたので長野木曾郡は繋がると予測していましたし、北方面は日光の山々が見えていましたから、喜多方市も繋がると予測はしていました。

続いて、J A 1 W Y U / 山梨南都留郡は R S 5 5 の信号で入感していましたが、感覚的には J R 2 C T R / 長野木曾郡の信号の方が安定していた感じがしました。

他の 1 エリア移動各局は、以下の様に R S 5 9 の強力な信号で入感していました。

特に、J K 1 W M V / 日の出山は見通し距離なので、5 9 +60db のフルスケールで入感してました。同じ、日の出山付近の J A 1 W S E / 青梅市は標高の関係か? 5 9 での入感でした。

千葉移動の J A 1 F Y Q / 鴨川市も R S 5 9 、J P 1 K F X / 奥多摩町も R S 5 9 で入感してました。

午前 1 0 頃に移動各局との相互伝搬実験は無事終了しました。

発々や F T - 4 5 0 M を撤収してから、F T - 8 1 7 2.5 W に 4 エレデルターループを接続して C Q を出すと東京・千葉・埼玉の各局からほぼ 5 9 のレポートを頂きました。標高 771m であれば 2.5w でも十分威力があるなど、実感しました。

帰りは、顔振茶屋で美味しい「山菜そば」を食べて帰りました。



関八州見晴台 山頂 771m



顔振峠から富士山方面の眺め

終わり